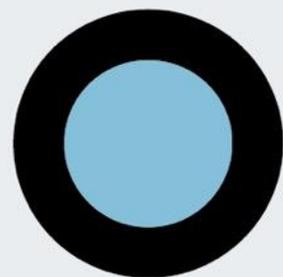
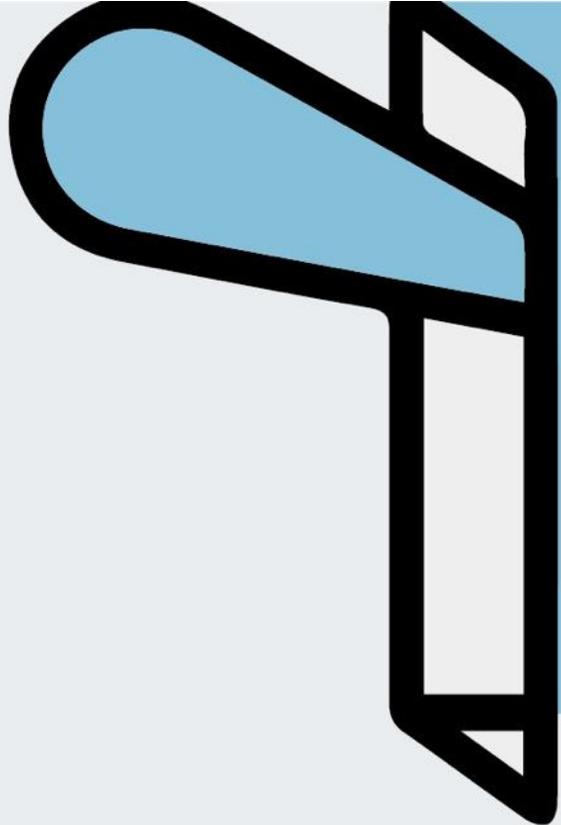
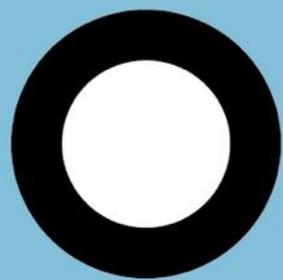


株式会社コー・ワークス
心から笑いあえる未来を創る





会社紹介



01 会社紹介<代表取締役紹介>

略 歴

- 1976 ● 秋田県秋田市生まれ。
- 1992 ● 親の転勤に伴い宮城県仙台市に移住。
- 1999 ● 株式会社富士通ビー・エス・シー入社。本田技術研究所、気象庁などの案件でSE、プロマネに従事
- 2006 ● 株式会社富士通ビー・エス・シー退職。
- 2007 ● 飲食業やソフトハウスなどの経営に携わり、実務ベースで経営を学ぶ。
- 2009 ● 株式会社コー・ワークスを設立。現職に就任。
- 2013 ● 経産省推奨資格 ITコーディネータ取得。(認定番号:0103132012C)
- 2014 ● (一社)みちのくIT経営支援センター理事に就任。
- 2017 ● 任期満了に伴いみちのくIT経営支援センター理事を退任。
- 2018 ● EO TOHOKU(現・EO North Japan)に入会。
- 2019 ● 宮城県情報サービス産業協会(MISA)にて、事業共創委員会副委員長を拝命。
10周年の節目の年にIoT事業をカーブアウトし、株式会社アイオーティドットランを設立。
同社代表取締役CEOに就任。

登壇歴

- 2018 ● 3月 宮城県様「IoT勉強会」講師
3月 山形県新庄市様「IoT導入事例紹介セミナー」講師
3月 宮城県情報サービス産業協会様「ICTカンファレンス」講師
5月 東北学院大学様「キャリアデザイン講義」講師
6月 総務省東北総通局様、経産省東北経産局様「IoTで創造する東北の未来社会」講師
6月 東京都情報産業協会様「IoT勉強会」講師
11月 横浜企業経営支援財団様「IoT活用事例セミナー」講師
- 2019 ● 5月 東北学院大学様「キャリアデザイン講義」講師
9月 仙台市様「仙台ソーシャルイノベーションナイト/社会課題解決を促進するICTのチカラ」講師
9月 秋田県中小企業団体中央会様「ゼロから始めるIoT/AIセミナー」講師
5月 東北学院大学様「キャリアデザイン講義」講師

受賞歴

- 2019 ● ET/IoT Technology Award 奨励賞
- 2020 ● 仙台市主催 TOHOKU GROWTH Accelerator Growth Course PITCH コンテスト KDDI 賞

Yoshikazu Awaji

淡路 義和

株式会社コー・ワークス
代表取締役社長



01 会社紹介

02 事業領域

03 今後の
事業構想

04 APPENDIX



株式会社コー・ワークス
今後の事業構想

01 会社紹介<会社概要>



社 名 株式会社 コー・ワークス
設 立 2009年4月1日
資 本 金 1千万円
従 業 員 数 32名
事 業 内 容 ITを中心としたモノづくり・
コトづくりによる課題解決
所 在 地 宮城本社 宮城県仙台市青葉区一番町 1-8-10
京成寺番町ビル 203

2009年4月：資本金100万円にて設立
システム開発事業を開始。
2011年5月：事務所を仙台市青葉区本町より仙台市青葉区一番町に移転。
2012年6月：情報提供サービス事業部 設立。
2012年10月：IT経営コーディネート事業部 設立。
2012年11月：東京にサテライトオフィス 設立。
2012年12月：WEBサイト“ランナーズボイス” 公開。
2013年1月：エンベデッド事業部 設立。
2013年4月：パブリックソリューション事業部 設立。
2013年6月：資本金を1千万円に増資。小堀 幸彦が代表取締役副社長に就任し、2代表制に移行。
2015年1月：CO-Project事業部 設立。
2018年12月：地域未来牽引企業に認定されました。
2019年1月：情報セキュリティマネジメントシステム「ISO27001」認証取得
2020年3月：健康経営優良法人2020に認定されました。
2021年2月：一般社団法人DX NEXT TOHOKUを設立し、弊社代表取締役・淡路義和が理事および事務局長に就任。
2021年3月：健康経営優良法人2021に認定されました。
2021年10月：事業継続力強化計画が認定されました。
2022年3月：健康経営優良法人2022 プライム500に認定されました。
2023年3月：健康経営優良法人2023に認定されました。

01 会社紹介

02 事業領域

03 今後の
事業構想

04 APPENDIX



株式会社コー・ワークス
今後の事業構想



Mission

心から笑いあえる未来を創る



Vision

東北を代表するテックカンパニーになる



Value

「超える」を生み出す
ワクワクをだいに
強みを活かして弱みを補う
目的から考える

01 会社紹介

02 事業領域

03 今後の
事業構想

04 APPENDIX



株式会社コー・ワークス
今後の事業構想

01 会社紹介<3つの想い>

1

個性・強みを
活かしていない
人材が多い



個性・強みを持つ人が
活躍できる場
を創りたい

2

東北の仕事＝
下請けが多い



東北で
0→1を
実現できる
会社になりたい!

3

今後、
日本の人口は
減り続けていく



人口が減っても
幸せな未来
を創りたい

01 会社紹介

02 事業領域

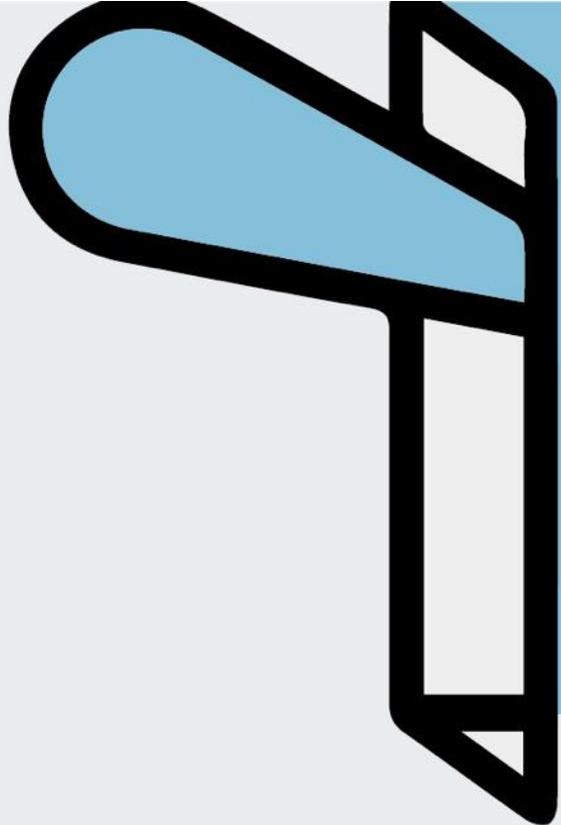
03 今後の
事業構想

04 APPENDIX

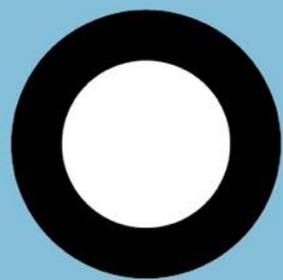


CO-WORKS

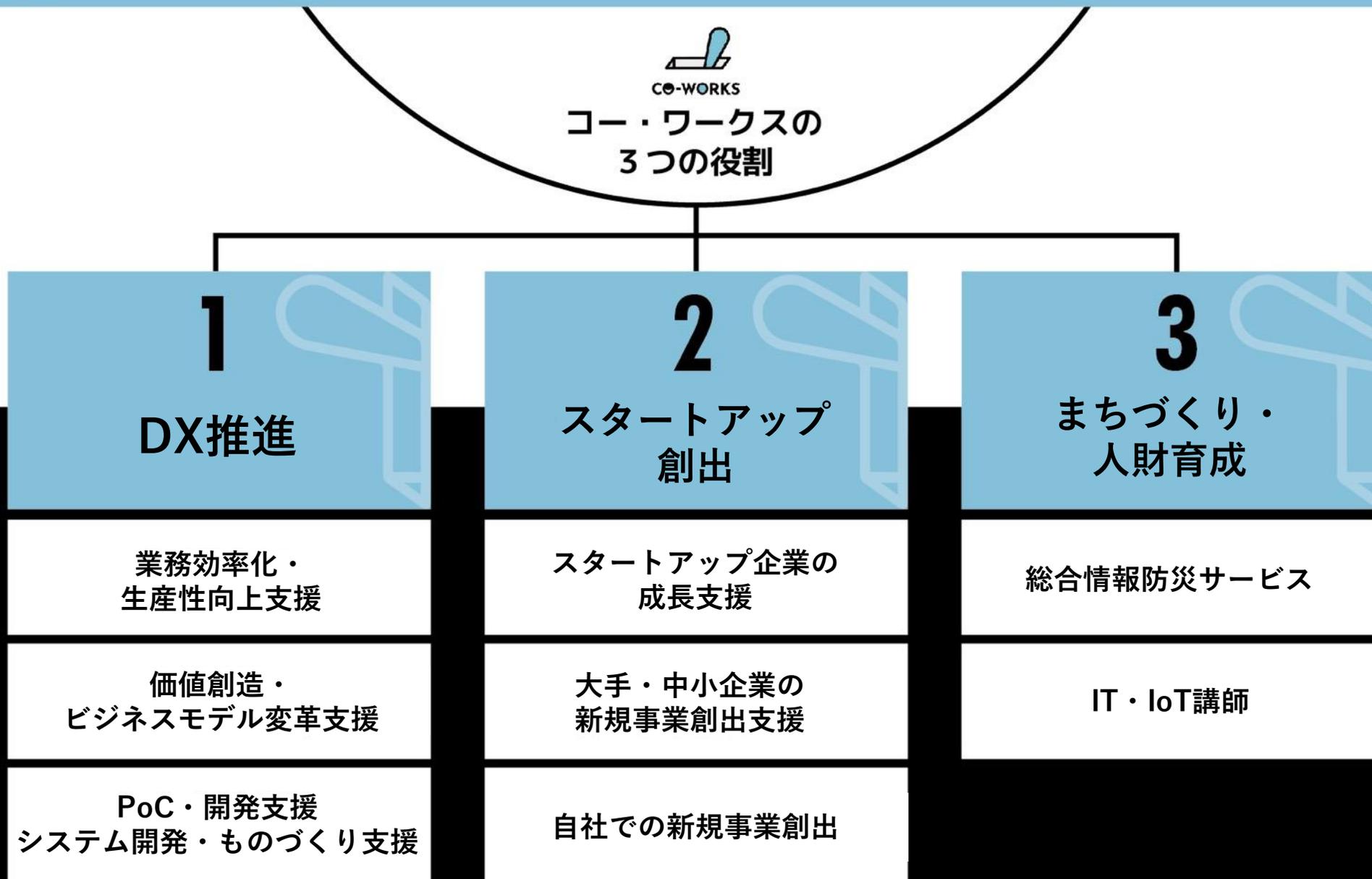
株式会社コー・ワークス
今後の事業構想



事業領域



02 事業領域< 3つの役割 >



01 会社紹介

02 事業領域

03 今後の
事業構想

04 APPENDIX



株式会社コー・ワークス
今後の事業構想

02 事業領域< Why_ 私たちが取り組む理由 >

Why

なぜ私たちが
取り組むのか？

	 個性・強みを持つ人が 活躍 できる場 を創りたい	 東北で 0→1 を 実現できる 会社になりたい!	 人口が減っても 幸せな未来 を創りたい
1 DX推進		価値創造・ ビジネスモデル 変革支援 PoC・開発支援 システム開発・ものづくり支援	業務効率化・ 生産性向上支援
2 スタートアップ 創出		スタートアップ 企業の成長支援	
	大手・中小企業の新規事業創出支援		自社での新規事業創出
3 まちづくり・ 人財育成	IT・IoT 講師		総合防災 情報サービス
	まちづくり		

01 会社紹介

02 事業領域

03 今後の
事業構想

04 APPENDIX

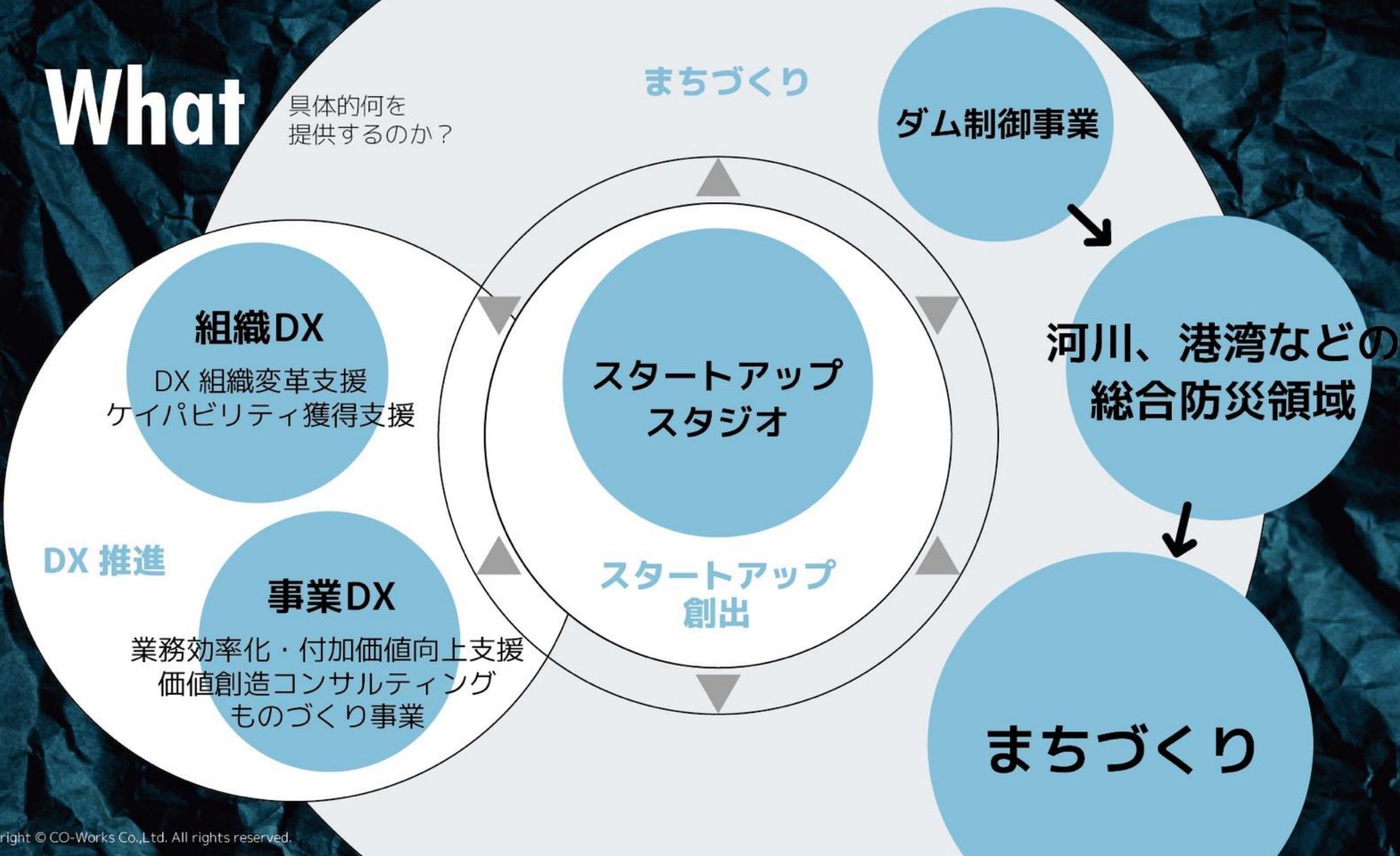


株式会社コー・ワークス
今後の事業構想

02 事業領域<What_ 私たちが提供すること>

What

具体的何を
提供するのか？



01 会社紹介

02 事業領域

03 今後の
事業構想

04 APPENDIX

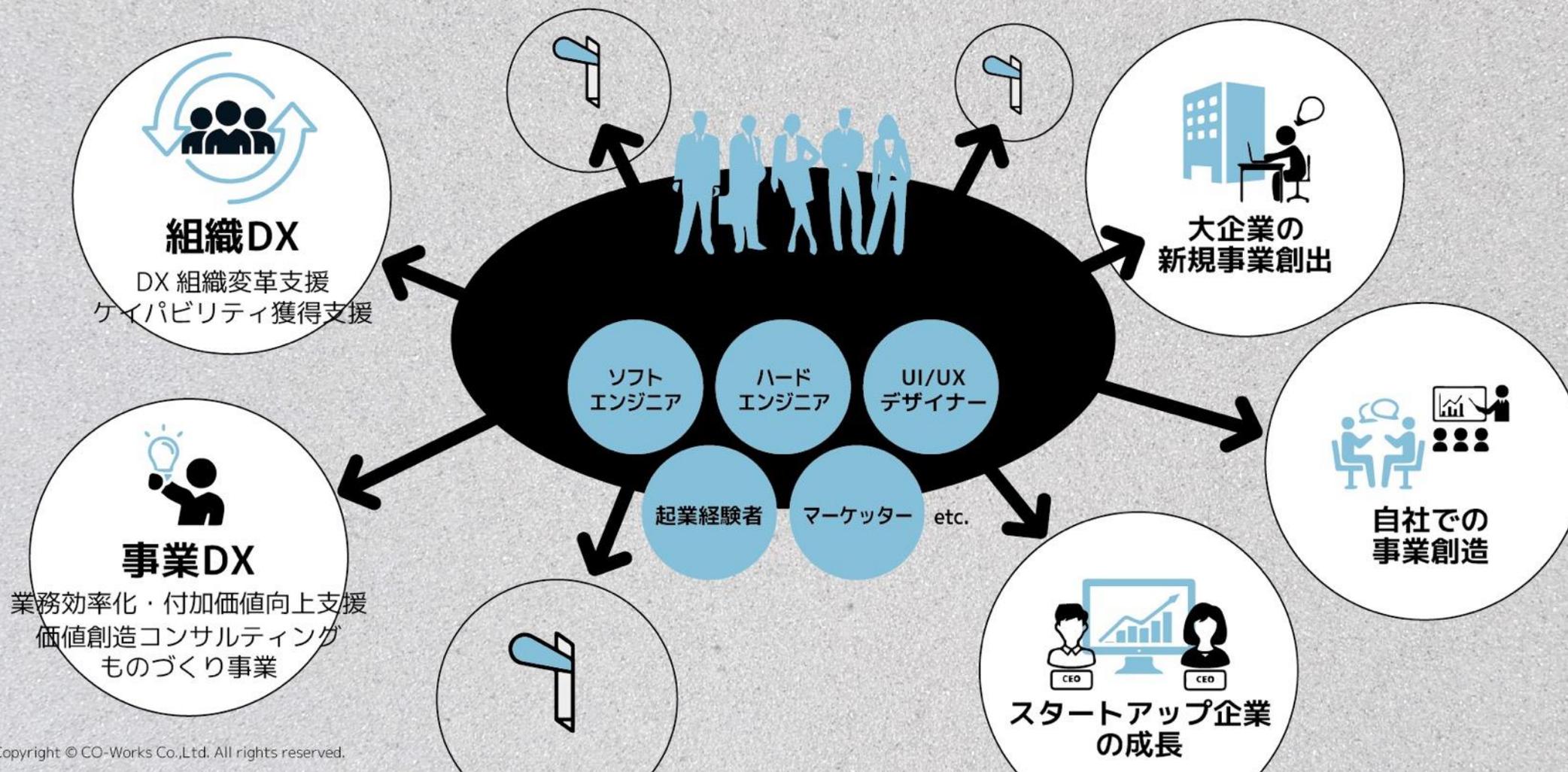


CO-WORKS

株式会社コー・ワークス
今後の事業構想

事業領域

モノづくりとコトづくりの強みを活かし、エンドユーザーの想いをカタチにする事業



01 会社紹介

02 事業領域

03 今後の事業構想

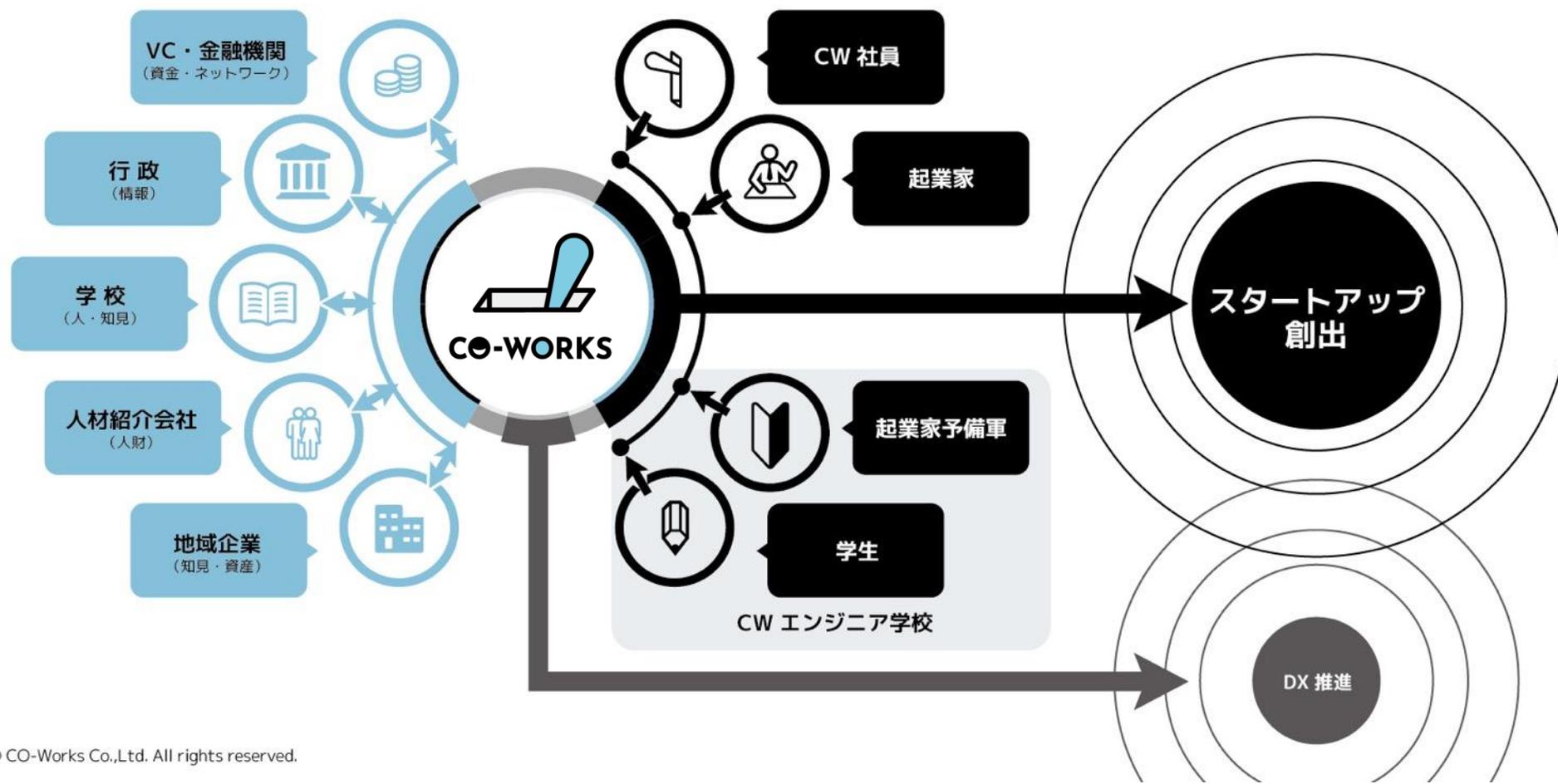
04 APPENDIX



株式会社コー・ワークス
今後の事業構想

コー・ワークスが目指す未来

ソフト×ハード開発支援を通じて、東北のスタートアップエコシステムのハブとなる



01 会社紹介

02 事業領域

03 今後の事業構想

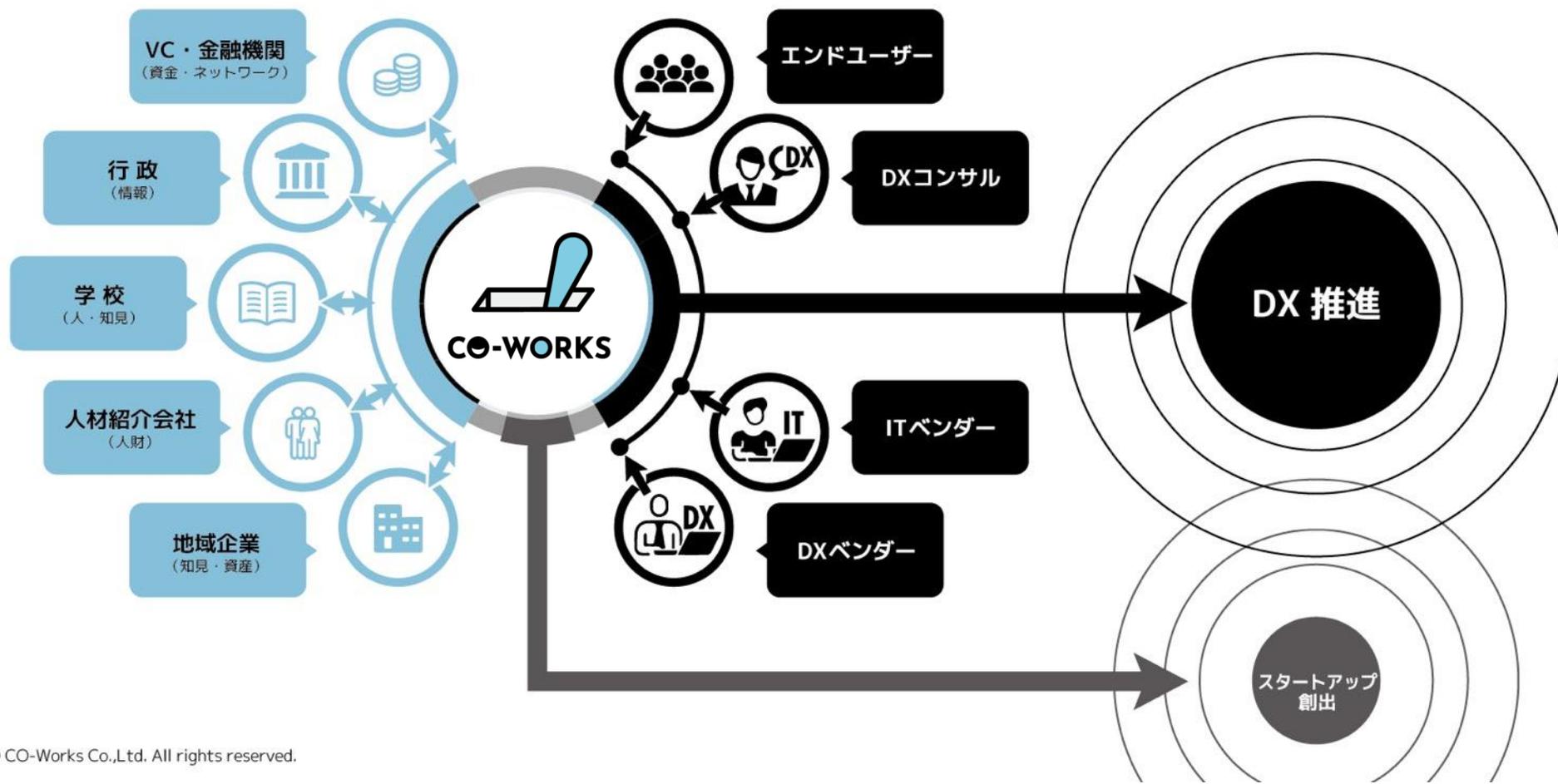
04 APPENDIX



株式会社コー・ワークス
今後の事業構想

コー・ワークスが目指す未来

ソフト×ハード開発支援を通じて、東北のスタートアップエコシステムのハブとなる



01 会社紹介

02 事業領域

03 今後の事業構想

04 APPENDIX



株式会社コー・ワークス
今後の事業構想

02 事業領域<DX 支援内容>

DX 支援事業



01 会社紹介

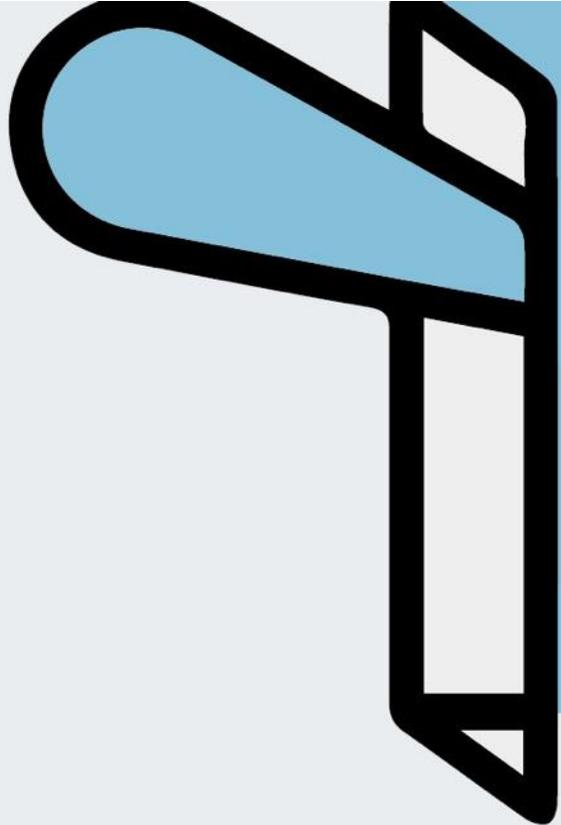
02 事業領域

03 今後の事業構想

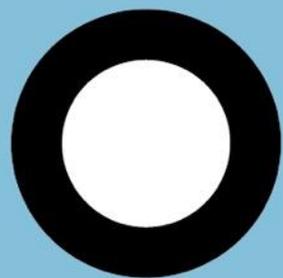
04 APPENDIX



株式会社コー・ワークス
今後の事業構想



今後の事業構想



03 今後の事業構想<世の中にとってのコー・ワークスとは>



1 社会にとって

- 「価値提供のプラットフォーム」
 - モノやひとや文化をつなげ、“得意”を活かして協働し、
 - 世の中に新しい価値を生む、課題を解決する



2 東北にとって

- 大切な人がたくさんいる地域に貢献したい
 - イノベーティブな事業を増やしグローバルマーケットを握る
 - 東北で働きたいという優秀なマイノリティの場を創る



3 顧客にとって

- コー・ワークスの持つ「つくる技術」や「かんがえるチカラ」ネットワーク資産をベースとしたサービスを楽しむ



4 社員にとって

- 得意を生かして、生き活きと働くことができる「場」
- 心理的安全性が確保され、多様な働き方が選択できる職場
- 「つくる技術」や「かんがえるチカラ」を育む成長の場
- 面白い・社会価値がある事業ができる活躍・自己実現の場
- 「自分らしく楽しく生きる」を実現することができる場

01 会社紹介

02 事業領域

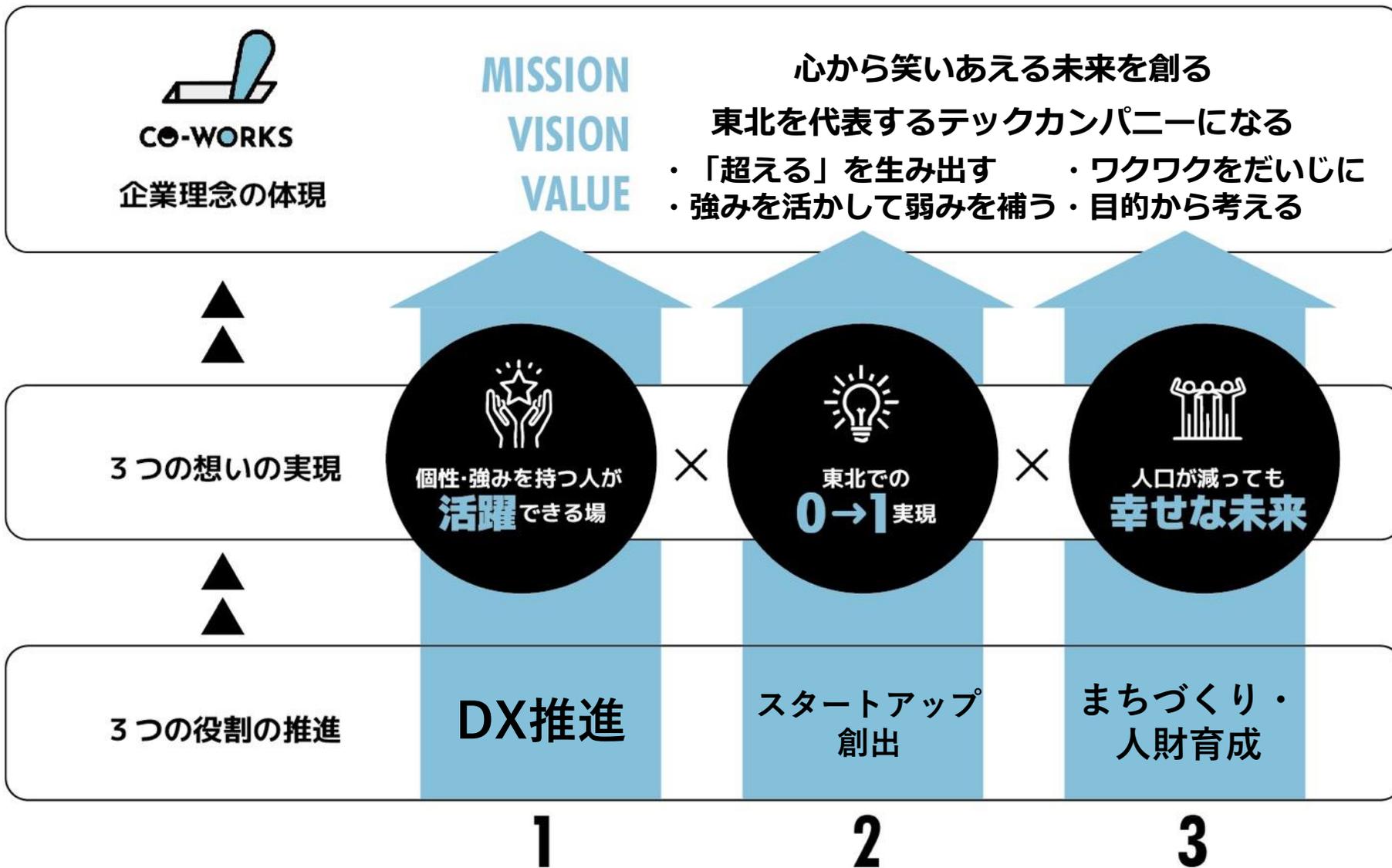
03 今後の事業構想

04 APPENDIX



株式会社コー・ワークス
今後の事業構想

03 今後の事業構想<想いの実現>



01 会社紹介

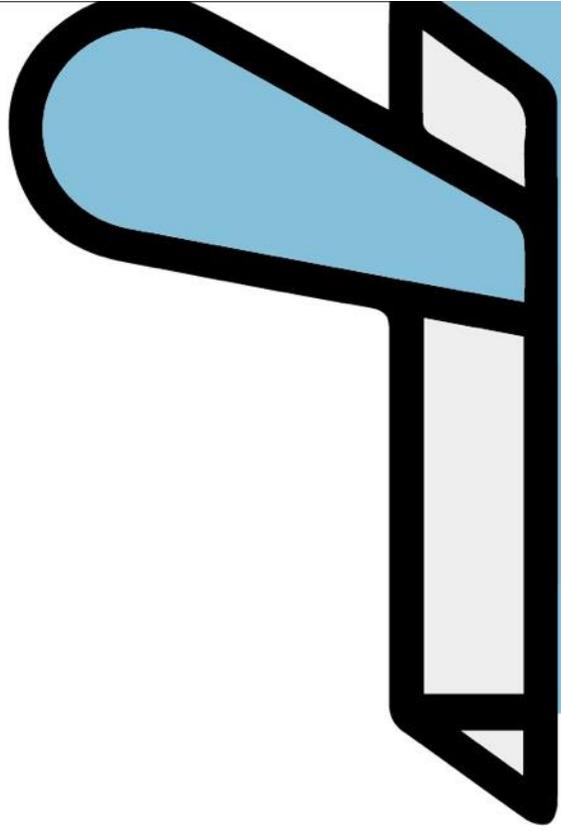
02 事業領域

03 今後の事業構想

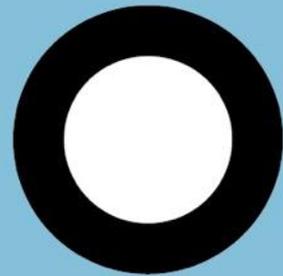
04 APPENDIX



株式会社コー・ワークス
今後の事業構想

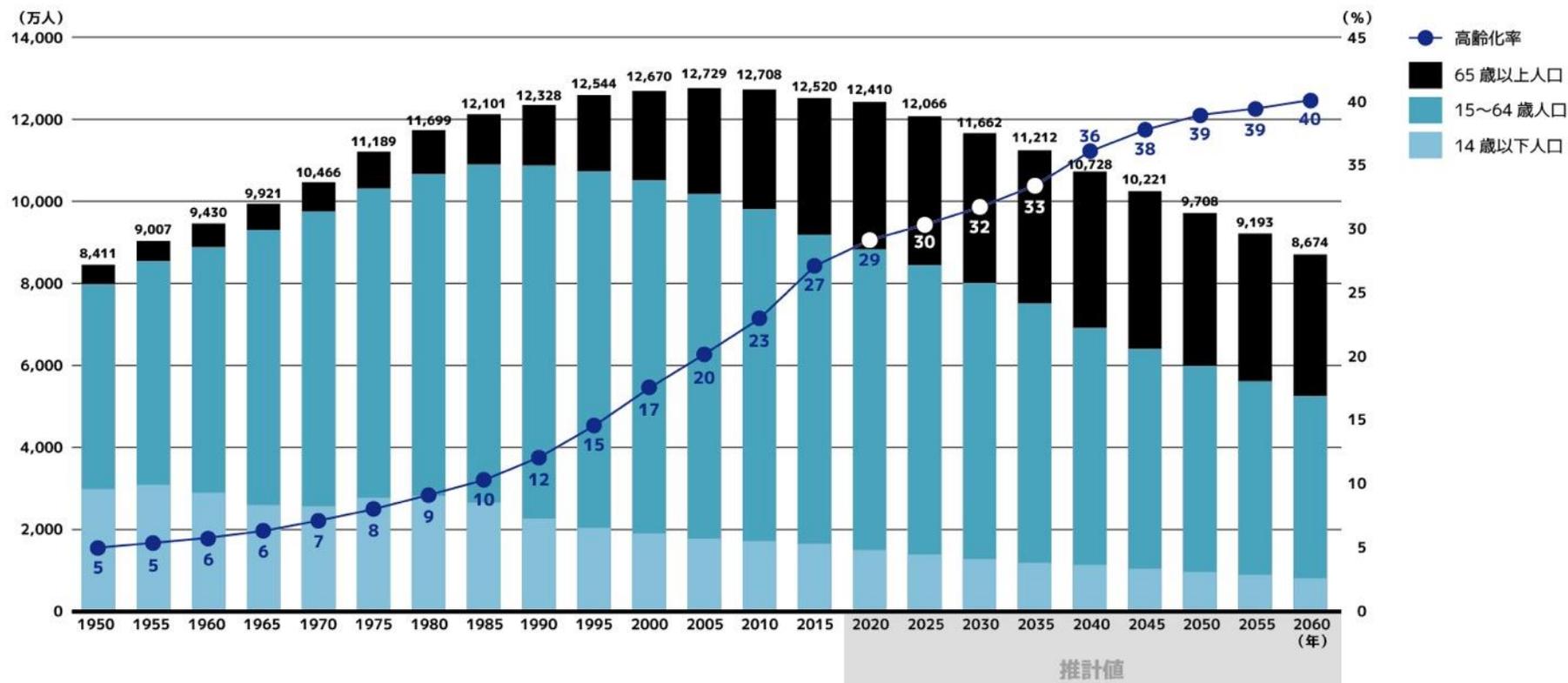


APPENDIX



04 APPENDIX <日本の人口推移>

2040年の生産年齢人口は、2010年に比べ約30%減少することが予想されるので、企業が生存するために生産性の向上は急務であり、DXは大いに期待されている



出典) 総務省平成 28 年度版情報通信白書「図表 1-1-1-1 我が国の人口推移」

01 会社紹介

02 事業領域

03 今後の事業構想

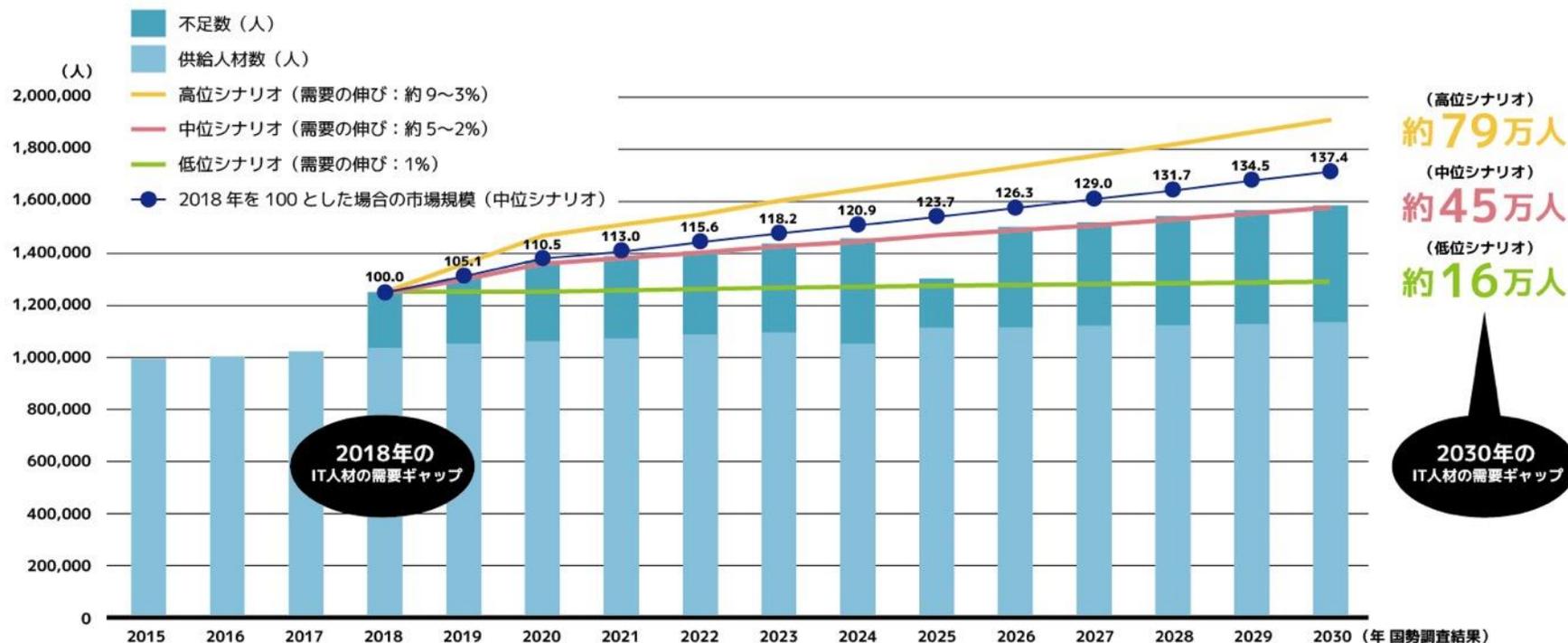
04 APPENDIX



株式会社コー・ワークス
今後の事業構想

04 APPENDIX <日本のIT人材の需給予測>

2030年には、約45万人のIT人材が不足すると予測されており、
今後IT人材の需要は益々高まる



出典) 経産省平成「IT人材需給に関する調査」

01 会社紹介

02 事業領域

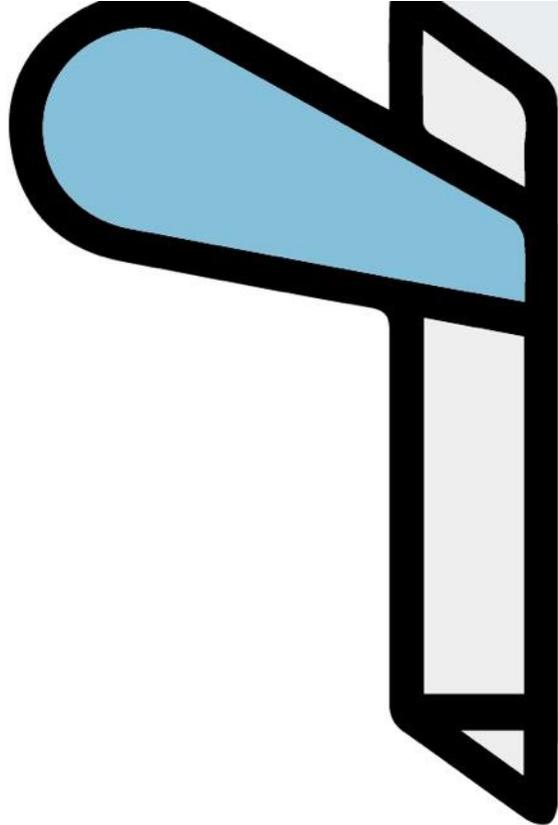
03 今後の事業構想

04 APPENDIX

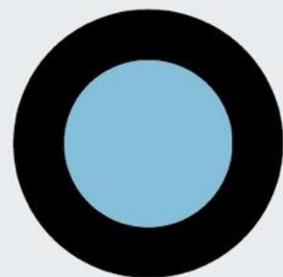


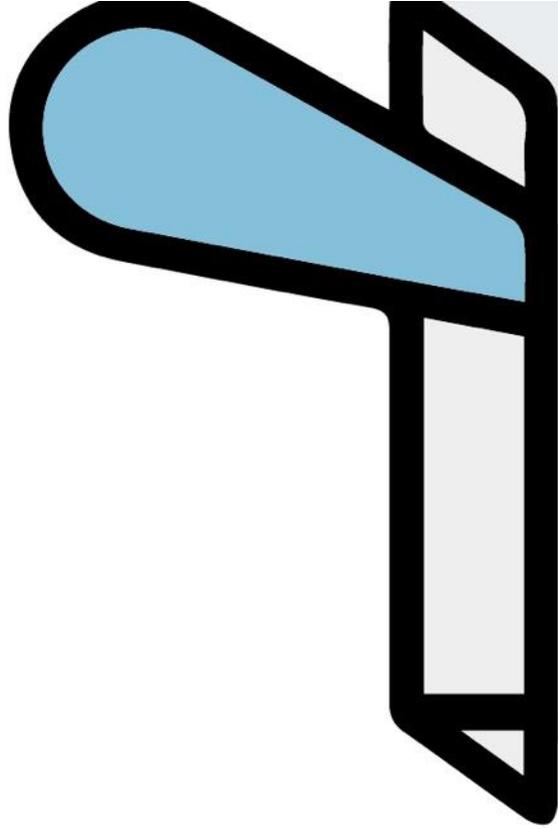
CO-WORKS

株式会社コー・ワークス
今後の事業構想

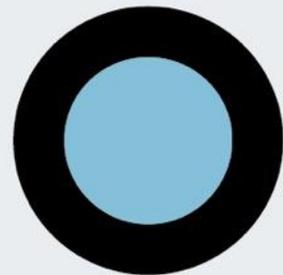


株式会社コー・ワークス 組織と選考について





Vision • Values



Vision

コー・ワークスが目指す姿

東北を代表する
テックカンパニーになる



東北を代表するテックカンパニーになる

コー・ワークスは、個性・強みを持つ人材が活躍できる組織として、私たちの強みであるテクノロジーとクリエイティビティの力で困りごとを解決していきます。コー・ワークスが本社を置く東北は、私たちにとって大切な場所です。そんな東北を、私たちだからできるテクノロジーを活かした方法で、より良い地域にしていきたいと考えています。そして「東北と言えばコー・ワークス」と言われるような、東北を代表するテックカンパニーを目指します。



Values

ビジョンを達成するための判断・価値基準

「超える」を生み出す
ワクワクをだいに
強みを活かして弱みを補う
目的から考える



「超える」を生み出す

「期待以上だった」「その発想はなかった」
そう思っていたくには、相手の視点に立って考え続け、
より良い価値を提供することが大切です。
何が求められているのかを考え抜き、プロフェッショナルとして
相手の想像を超えるパフォーマンスを追求していきます。

ワクワクをだいに

個々に湧きあがったワクワク感は、
新しいものが生まれようとしているきっかけかもしれません。
だからこそ、表に出せずに消えてしまわないように、誰かに伝えられる
環境づくりと「どうすればできるか」を共に考えられるチームでありたい
と思っています。そして、前例に固執することなく、自分や関わる人
たちが共にワクワクする選択肢を模索し続けます。

強みを活かして弱みを補う

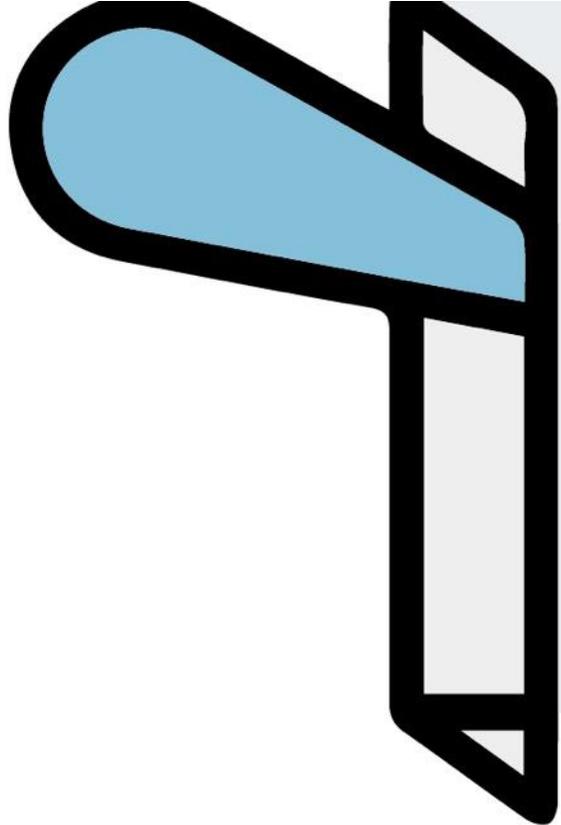
コー・ワークスは、一人ひとりがプロフェッショナルとして自律し、チームで成果にコミットする組織でありたいと思っています。

そのためには、相手のことを理解し、自身の強みを活かして他者の弱みを補い合うことが大切です。

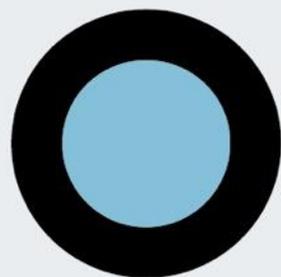
メンバーの個々に持つ強みを最大限に活かしながら、多様性あふれるチームで、一人ではなし得ない大きな価値の創造を目指します。

目的から考える

何かを達成するためには、今と向き合ってやるべきことを考えつつ、常に目的から考える視点を持つことも大切だと考えています。迷ったときには、今何を目指しているのか、そのためには今どうあることが良いのかを見つめなおし、目的達成に繋がる選択をします。



組織について



<数字で見るコー・ワークス>

従業員数

33名

男性：女性

7.6 : 2.4

平均年齢

39.8歳

平均残業時間



18.4時間

平均有給取得日数



9.8日

平均勤続年数



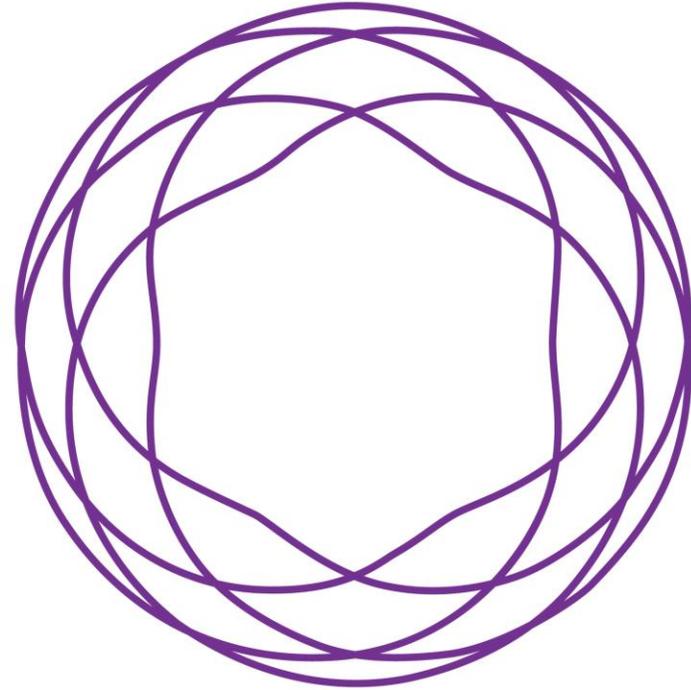
7.2年

新卒定着率



87.5%





地域未来牽引企業



2023

健康経営優良法人

Health and productivity



健康経営優良法人
Health and productivity
ブライツ500



<七十七銀行 77SDGs私募債（寄付型／社会貢献コース）>

77 七十七銀行

News Release 2022年8月31日



「77SDGs私募債（寄付型／社会貢献コース）」の受託・引受について （株式会社コー・ワークス）

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、株式会社コー・ワークスが当行の保証により発行する下記の無担保社債を受託・引受いたしましたので、お知らせいたします。

本件は、私募債発行に際し、当行が発行企業から受け取る手数料の一部で、地域の教育機関や老人介護保健施設等に必要な物品を寄贈する「77SDGs私募債（寄付型／社会貢献コース）」を受託・引受したものです。

当行では、「七十七グループのSDGs宣言」を踏まえ、今後とも積極的な資金供給に加え、資金調達手段の多様化ニーズへの対応など、適切なソリューションを提供することにより、お取引先企業とともに地域貢献および地方創生の推進に取り組んでまいります。

記

発行企業：株式会社コー・ワークス（本社：仙台市青葉区、代表取締役：淡路 義和）
業種：ソフトウェア開発業
保証：当行100%保証
発行日：2022年8月31日
期間：5年
発行金額：50百万円
資金使途：長期運転資金

～発行企業様の概要～

当社は強みであるテクノロジーの力を駆使し、東北から新たな価値を生み出すテックカンパニーを目指して2009年に設立しました。DX推進、スタートアップ創出支援、地域創生・まちづくりという3つの事業を柱に挑戦・成長し続けるIT企業です。

最近では「地域の未来を創る」「若者が活躍できる選択肢を増やす」ことを目的とした組織（DX NEXT TOHOKUや仙台・東北DXエコシステム）の設立に尽力し、想いを共にする民間企業や地方銀行、国・自治体、大学・高専などと連携し、地域のDX促進に繋がる公共性の高いプロジェクトを立ち上げ鋭意活動中です。

今回の「77SDGs私募債（寄付型／社会貢献コース）」の発行を通じて、発行手数料の一部を地域貢献のために活用する予定です。



SDGs（Sustainable Development Goals）
2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。
七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言～もっと、ずっと、地域と共に～」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月より「SDGs実践計画」を策定しております。

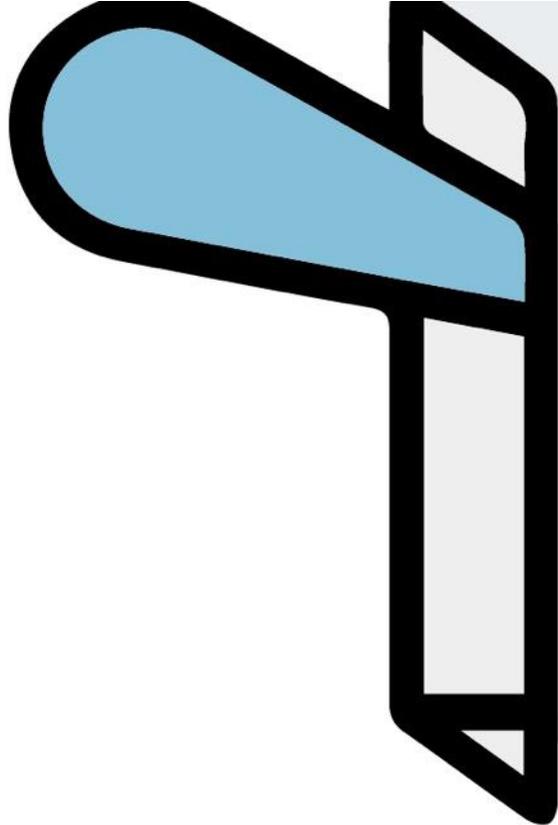
以上



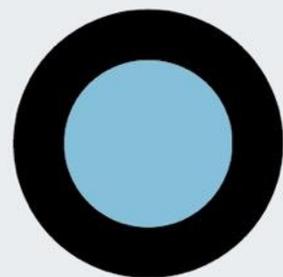
七十七グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

もっと、ずっと、地域と共に。





福利厚生・働く環境



福利厚生・制度



主な制度

確定拠出型年金制度

社員交流補助制度

教育補助制度

ワーケーション可能

テレワーク制度（条件あり）

通勤交通費支給

はたらく基本情報



休暇

完全週休二日制

祝日・年末年始休み（12月29日～1月3日）

夏休み（8/13-8/15）

育児休暇

介護休暇

病気休暇

ボランティア休暇



社会保険・労働保険完備



手当

通勤手当(上限あり)

テレワーク手当（条件あり）

役職手当



チームビルディング

全社連絡会

コー・ワークス全体としての動きに対して認識を合わせること、メンバーのコミュニケーション促進を目的に毎月一回「全社連絡会」を開催しています。
期末（7月）と年末（12月）には、イベント色が増します。

社内報「CoCoTimes」

社内報「CoCoTimes」を毎月刊行。旬なトピックからメンバーのボヤキまで、幅広いトピックを発信しています。

社員交流補助制度

部署内外を問わず、メンバーの交流促進を目的に、食事会やイベント参加などの補助をしています。

オンボーディング

入社オンボーディング

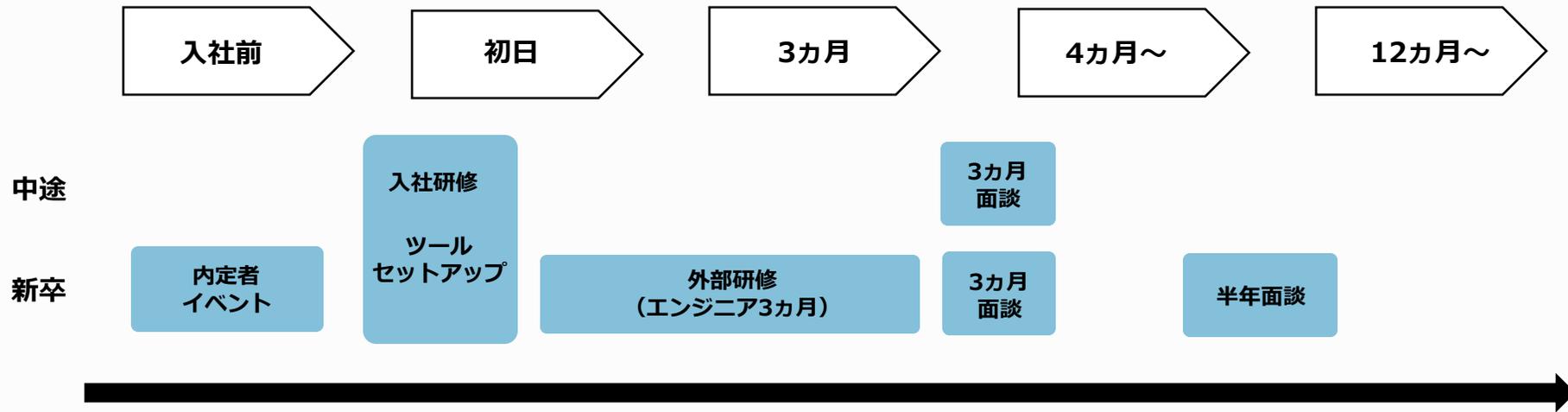


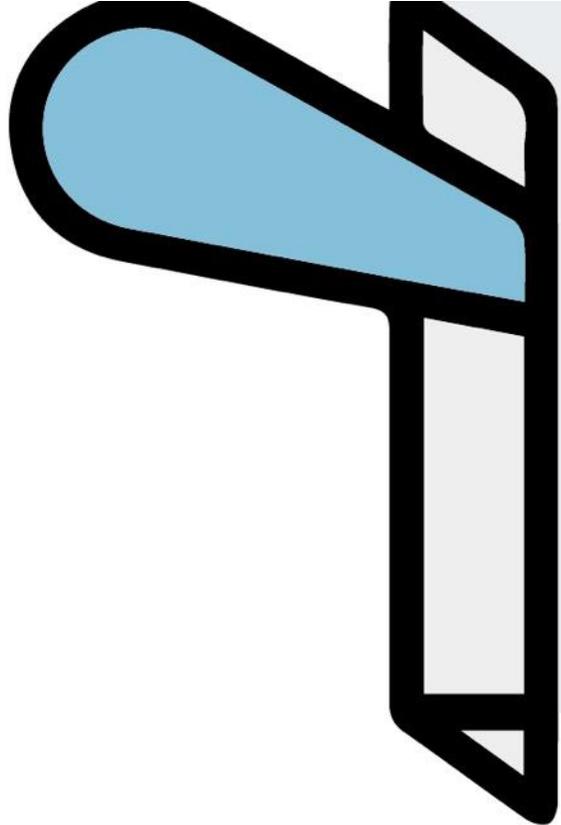
コー・ワークスでは、新たに仲間に加わったメンバーが、スムーズに組織に定着し、パフォーマンスを発揮できるよう、組織・事業面でのオンボーディングを実施しています。

メンタリング

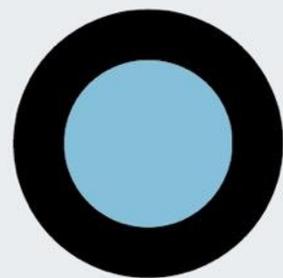


入社から最大1年間先輩社員とのメンタリングを行い、働いていくなかでメンタル面でのサポートを行っています。





選考プロセス



採用ポリシー

「東北を代表するテックカンパニーになる」というビジョンと一緒に達成しようとしてくださる仲間を迎え入れることが、採用の最も重要なポリシーです。

ミッション・ビジョンへの共感 バリューの体現可能性

Mission

心から笑いあえる未来を創る



Vision

東北を代表するテックカンパニーになる



Value

「超える」を生み出す
ワクワクをだいに
強みを活かして弱みを補う
目的から考える

バリューを判断軸にビジョン・ミッションに向かうため、ここに合わない人を採用してしまうと組織も本人も不幸になってしまいます。



選考フロー

選考は、企業とあなたとのマッチングの場だと捉えています。私たちだけが候補者の方を見るのではなく、候補者の方にもコー・ワークスで人生の時間を使うことが良い選択なのかどうかをお互いに確かめ合えたらと思っています。納得した状態で選考を終えられるように、ぜひ正直なお話を聞かせてください。

Step 0

カジュアル面談

採用候補者の方にHPからだけではわからないコー・ワークスについて気になることを解消し、候補者の方にコー・ワークスが合っているかを考える指標を提供する場。

Step 1

エントリー

Step 2

書類選考

候補者の経歴書から必須条件/歓迎条件が満たされているか、話を聞いてみたいと思えるかどうかを判断する。

Step 3

適性検査/面接（複数回）

SPI/CABテストを基に、選考担当者と面接を行う。

Step 4

ガイダンス面談

担当者どざっくばらんに話をする。
入社意思を確認しつつ、きちんと「目指す未来」にマッチするかを判断する

Step 5

最終面接

代表との面接。入社への最終合意の時間。



カジュアル面談

「気になるけど、エントリーするかはまだ迷う…」
「社員と話してみたい」
「自分のスキルがどんな風に活かせるか知りたい」
「就活の悩みを聞いてほしい」

というような方々を対象に、組織や業務内容、その他解消しておきたい悩みなどをざっくばらんに話す機会を設けております。



こちらのリンクよりお申込みください！

[カジュアル面談お申込みフォーム](#)



QRコードの読み取りからお申込みいただけます！



コー・ワークスの第二創業に、あなたの力を貸してください

株式会社コー・ワークスは2009年4月に設立しました。

起業当初思い描いていたミッションは「ここ東北で個性を活かして自立し、幸せになれる組織」でした。そもそも私自身、東北という地域が好きで、首都圏は生活ではなく仕事や遊びに行く場所でした。そして強みと弱みがはっきりしている個性強めな特性・素養を持っていましたし、自立とは「強みを活かして弱みを補完しあい生きる」ことであるという考えを持っていました。この考えに共感してくれる人が集まる組織を目指していました。

そこから14年が経ち、事業を通じて幸せにしたい人々の対象を「自分や共感してくれる仲間」から、「みんな」に広げることを見断しました。そしてミッションを、コー・ワークスの仲間やその家族、お客さま、大切な人たちが大切にしている人たちが「心から笑いあえる」未来を創ることと再定義しました。

元からあるコンセプトである「自立」も今は「心から笑いあう」ために必要なことと考えています。

弊社はDXコンサル、ソフトウェア・ハードウェア開発、組み込み・機械・メカ開発、ダム管理、スタートアップのテック支援などのクリエイティビティ溢れる強みを活かし、弱みを補完しあいながら、そしてその価値を常に与えられ続けるよう成長しながら、コー・ワークスで出会った仲間やパートナーの皆さんと共に、心から笑いあえる未来を創り、その輪を仙台・東北から、日本、全世界にまで広げていきます。

東北の底力。
我々はやれる。

あなたのクリエイティビティを活かし、ここ東北から豊かで幸せな未来を共に創っていきましょう！

代表取締役社長 淡路義和

